

第11回クラスター研究会 ～医療開発研究の歴史と最前線～

開催報告

2019年3月26日（火）日本橋ライフサイエンスハブにて、今年度最後のクラスター研究会を開催いたしました。ものづくり企業、製販企業、臨床機関、研究機関、行政・支援機関などから、101名の方にご参加いただきました。お忙しいなかご来場いただき、ありがとうございました。

クラスター研究会

3名の講師をお招きし、医療機器開発に関する最新の動向、具体的な実践事例について、ご講演いただきました。

基調講演「情報化時代の医療開発研究」

自治医科大学 学長 永井 良三 氏より、医療開発の歴史と、情報化社会における医療研究の動向についてご講演いただきました。

特別講演「わが国の手術ロボットの研究開発の現状と課題」

東京大学大学院工学系研究科 バイオエンジニアリング専攻 准教授 原田 香奈子 氏より、日本で開発されている手術ロボットの紹介や、課題についてお話いただきました。

特別講演「医療機器臨床試験の最近の話題—特定臨床研究と治験」

独立行政法人医薬品医療機器総合機構 スペシャリスト 望月 修一 氏より、医療機器や医薬品の承認に必要となる、臨床試験の基準や考え方についてご講演いただきました。



会場内客席の様子



永井氏によるご講演



原田氏によるご講演



望月氏によるご講演



交流会の様子



講師の先生方ほか

交流会

交流会では、ご講演いただいた先生方と参加者による名刺交換、および情報交換が活発に行われました。参加企業によるショートプレゼンテーションを通じて、各社の製品、技術をご紹介いただきました。次回以降も交流会を開催し、講師の先生方と参加者との間での意見交換の場として、ご活用していただく予定です。

■ショートプレゼンテーションを行っていただいた企業
株式会社エムエス 株式会社鷺宮製作所

★ご参加いただいた皆様からのご意見・ご感想★

手術ロボットの研究開発についてより詳しい現状と課題を知りたい。
今後も適切な講師とテーマで研究会を継続的に開催してほしい。